



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月2日

上場会社名 積水樹脂株式会社

（コード番号：4212 東証・大証第1部）

（URL <http://www.sekisuijushi.co.jp/>）

代表者 代表取締役社長 福井彌一郎

問合せ先責任者 総務部長 早川直樹

TEL：(06) 6365 - 3204

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

中間財務諸表作成基準に準拠しつつ、投資家等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、引当金の計上基準等に一部簡便な方法を採用しています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）百万円未満は切捨て表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	13,666	1.5	692	3.7	672	3.9	240	28.4
18年3月期第1四半期	13,471	9.3	718	13.0	699	16.8	336	11.0
(参考) 18年3月期	60,839		5,119		5,183		2,930	

	1株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	5.23	5.20
18年3月期第1四半期	7.30	7.26
(参考) 18年3月期	62.00	61.52

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のがわが国経済は、企業の収益改善が雇用や個人所得の増加につながり、国内民間需要に支えられた景気の回復が続きましたものの、公共投資の縮減や原材料価格の高騰などによる景気への影響が懸念され、先行き予断を許さない状況で推移しました。

このような状況のもと、当社は、市場ニーズの高い分野や公共事業の重点予算分野へ販売力を特化するとともに、新規需要の開拓等に努めました結果、当第1四半期の連結業績は売上高が136億6千6百万円（前年同期比1.5%増）と増収となりましたものの、利益面では原材料価格高騰の影響等もあり、営業利益は6億9千2百万円（前年同期比3.7%減）、経常利益は6億7千2百万円（前年同期比3.9%減）、四半期純利益は2億4千万円（前年同期比28.4%減）と減益となりました。

なお、当第1四半期は、東京本社事務所家主の民事再生法適用申請に伴い、貸倒引当金を特別損失として計上しております。

各事業別セグメントの状況は以下のとおりです。

道路・都市環境関連事業

「ポールコーン」(車線分離標)をはじめ交通安全用品が好調に推移しましたほか、標識板も東北・近畿地区の道路整備需要により売上を伸ばしました。

防護柵は「景観ガイドライン」に適合した車両用防護柵や人に優しい手摺柵が売上伸長するとともに、高欄も投物防止機能付高欄「クラスターバリア」が跨線橋に採用されるなど、前年同期の売上を大きく上回る成績を収めました。

人工木材「スーパーオレンジウッド」は軽量化した建材が好評を博し、大手建材メーカー向けに顕著な伸びを示しましたほか、人工芝もグラウンド用人工芝「ドリームターフ」がプロサッカーチームの練習グラウンドや学校等に引き続き採用されるなど、好調な売上増を示しました。一方、民需サインは競争激化の影響を受け、売上は低調に推移しました。

この結果、道路・都市環境関連事業の売上高は46億6千9百万円(前年同期比5.9%減)となりましたが、営業利益は1億2千1百万円(前年同期比983.5%増)となりました。

住建生活・産業関連事業

主力製品のメッシュフェンスは、施工性やデザイン性がますます評価されるとともに、全国販売組織のさらなる強化や地域に応じた販売戦略が功を奏し、売上を大きく伸ばしましたほか、目隠し塀も新製品の上市等により大幅に伸長しました。

組立が簡単な物干用品「らくくみ」や巻き取りやすいホースリール「アクアボックス」等の新製品は優れた機能が市場に評価され売上を伸ばしましたが、店舗什器は大口物件の減少により売上減となりました。アルミ樹脂複合板は、看板用パネルが大幅伸長を示しましたほか、建設現場向け防音パネルも好調に推移しました。

包材関連製品は、紙管のない梱包用バンド「コアレス」やエア緩衝機材「マルチパッドマシン・フィルム」等の環境配慮型製品が売上を伸ばしましたが、緑製品は農家向け需要の減退により前年同期を下回る成績に終わりました。

この結果、住建生活・産業関連事業の売上高は89億1千6百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は7億8千8百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

その他事業

商事部門は前年同期の成績を上回りました。

この結果、その他事業の売上高は8千万円(前年同期比49.8%増)、営業利益は5百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	78,296	45,070	56.4	960.06
18年3月期第1四半期	75,093	41,731	55.6	905.27
(参考)18年3月期	81,835	44,594	54.5	968.99

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	395	277	882	12,708
18年3月期第1四半期	136	1,677	815	11,362
(参考)18年3月期	4,847	452	1,283	14,262

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べて35億3千9百万円減少し、782億9千6百万円となりました。主に、売掛債権が減少したこと等によるものであります。また、当第1四半期における連結ベースの現金及び現金同等物は、前期末に比べ15億5千3百万円減少し、127億8百万円となりました。当第1四半期までのキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において営業活動に使用したキャッシュ・フローは、3億9千5百万円となりました。

これは、売掛債権の減少等による資金増加の一方、仕入債務の減少及び法人税等の支払をおこなったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において投資活動に使用したキャッシュ・フローは、2億7千7百万円となりました。

これは、有形固定資産及び投資有価証券の取得等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において財務活動に使用したキャッシュ・フローは、8億8千2百万円となりました。

これは、借入金の返済を行ったこと等によるものであります。

添付資料

- (要約) 四半期連結貸借対照表、
 - (要約) 四半期連結損益計算書、
 - (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- セグメント情報

以上

【参 考】

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、平成18年5月10日に発表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 金額 :百万円、構成比 :%)

期 別 科 目	平成18年度第 1四半期 (平成18年6月30日)		平成17年度(参考) (平成18年3月31日)		比較増減	平成17年度第 1四半期 (平成17年6月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)							
流動資産	46,813	59.8	50,584	61.8	3,770	44,677	59.5
現金及び預金	12,708		14,262		1,553	11,362	
受取手形及び売掛金	22,675		25,664		2,989	21,653	
たな卸資産	6,924		6,358		566	6,586	
その他	4,619		4,411		207	5,181	
貸倒引当金	114		112		1	107	
固定資産	31,482	40.2	31,251	38.2	231	30,416	40.5
有形固定資産	20,697	26.4	20,094	24.5	603	20,282	27.0
建物及び構築物	7,536		6,836		700	7,188	
機械装置及び運搬具	4,979		5,092		113	4,965	
土地	7,345		7,346		0	7,345	
その他	835		818		17	782	
無形固定資産	221	0.3	225	0.3	4	269	0.4
投資その他の資産	10,563	13.5	10,931	13.4	367	9,864	13.1
投資有価証券	7,718		8,064		345	6,432	
その他	3,237		3,154		83	3,694	
貸倒引当金	392		286		105	262	
資産合計	78,296	100.0	81,835	100.0	3,539	75,093	100.0

期 別 科 目	平成18年度第 1四半期 (平成18年6月30日)		平成17年度(参考) (平成18年3月31日)		比較増減	平成17年度第 1四半期 (平成17年6月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負 債 の 部)							
流 動 負 債	28,367	36.2	31,352	38.3	2,984	22,573	30.1
支払手形及び買掛金	15,351		15,780		429	13,020	
短期借入金	8,764		9,213		448	4,189	
未払法人税等	353		1,545		1,191	670	
賞与引当金	439		858		418	483	
その他	3,457		3,954		496	4,209	
固 定 負 債	4,857	6.2	4,959	6.1	101	9,999	13.3
長期借入金	3		3		-	5,004	
退職給付引当金	4,239		4,248		9	4,323	
役員退職慰労引当金	521		505		15	465	
その他	93		201		107	205	
負 債 合 計	33,225	42.4	36,311	44.4	3,085	32,572	43.4
(少 数 株 主 持 分)							
少 数 株 主 持 分	-	-	930	1.1	-	790	1.1
(資 本 の 部)							
資 本 金	-	-	12,334	15.1	-	12,334	16.4
資 本 剰 余 金	-	-	13,120	16.0	-	13,128	17.5
利 益 剰 余 金	-	-	18,504	22.6	-	16,186	21.5
その他有価証券評価差額金	-	-	1,477	1.8	-	823	1.1
為替換算調整勘定	-	-	176	0.2	-	253	0.3
自 己 株 式	-	-	665	0.8	-	489	0.7
資 本 合 計	-	-	44,594	54.5	-	41,731	55.5
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	-	-	81,835	100.0	-	75,093	100.0
(純 資 産 の 部)							
株 主 資 本	43,048	55.0	-	-	-	-	-
資 本 金	12,334	15.7	-	-	-	-	-
資 本 剰 余 金	13,119	16.8	-	-	-	-	-
利 益 剰 余 金	18,247	23.3	-	-	-	-	-
自 己 株 式	652	0.8	-	-	-	-	-
評 価 換 算 差 額 等	1,079	1.4	-	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	1,234	1.6	-	-	-	-	-
為替換算調整勘定	155	0.2	-	-	-	-	-
少 数 株 主 持 分	942	1.2	-	-	-	-	-
純 資 産 合 計	45,070	57.6	-	-	-	-	-
負 債、純 資 産 合 計	78,296	100.0	-	-	-	-	-

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位 金額 :百万円、百分比 :%)

科 目	平成18年度第 1四半期 (自平成18年 4 月 1 日 至平成18年6月30日)		平成17年度第 1四半期 (自平成17年 4 月 1 日 至平成17年6月30日)		比較増減	平成17年度(参考) (自平成17年 4 月 1 日 至平成18年 3 月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売 上 高	13,666	100.0	13,471	100.0	195	60,839	100.0
売 上 原 価	9,998	73.2	9,723	72.2	274	43,302	71.2
売 上 総 利 益	3,667	26.8	3,747	27.8	79	17,536	28.8
販売費及び一般管理費	2,975	21.8	3,028	22.5	53	12,416	20.4
営 業 利 益	692	5.0	718	5.3	26	5,119	8.4
営業外収益	100	0.8	106	0.8	5	452	0.7
受取利息及び配当金	81		87		6	163	
雑 益	19		18		0	288	
営業外費用	120	0.9	125	0.9	4	389	0.6
支 払 利 息	76		70		6	259	
雑 損	43		54		11	129	
経 常 利 益	672	4.9	699	5.2	27	5,183	8.5
特別利益	44	0.3	1,297	9.6	1,252	1,298	2.2
特別損失	109	0.8	1,124	8.3	1,014	1,205	2.0
税金等調整前 四半期(当期)純利益	607	4.4	872	6.5	265	5,276	8.7
法人税等	322	2.3	506	3.8	184	2,175	3.6
少数株主利益	45	0.3	30	0.2	14	169	0.3
四半期(当期)純利益	240	1.8	336	2.5	95	2,930	4.8

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	期 別 平成18年度第1四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	平成17年度第1四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)	平成17年度(参考) (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
.営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	607	872	5,276
減価償却費	441	460	1,908
売上債権の増加額()又は減少額	2,999	3,466	423
たな卸資産の増加額()又は減少額	558	578	258
仕入債務の増加額又は減少額()	1,187	2,514	188
その他	1,203	1,052	102
小計	1,098	1,811	7,105
法人税等の支払額 他	1,494	1,674	2,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	395	136	4,847
.投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出、売却による収入	224	1,058	37
投資有価証券の取得による支出、売却による収入	100	714	316
その他	47	95	173
投資活動によるキャッシュ・フロー	277	1,677	452
.財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	455	520	525
配当金の支払額	414	320	596
その他	12	25	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	882	815	1,283
.現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3	17
.現金及び現金同等物の増加額又は減少額()	1,553	1,001	4,034
.現金及び現金同等物期首残高	14,262	10,357	10,357
.連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	4	4
.連結子会社除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	-	132
.現金及び現金同等物期末残高	12,708	11,362	14,262

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	道路・都市環境 関連事業	住建生活・産業 関連事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	4,669	8,916	80	13,666	-	13,666
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	57	4	62	(62)	-
計	4,669	8,973	85	13,728	(62)	13,666
営業費用	4,548	8,185	79	12,814	160	12,974
営業利益	121	788	5	914	(222)	692

前年同四半期（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	道路・都市環境 関連事業	住建生活・産業 関連事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	4,963	8,453	53	13,471	-	13,471
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	61	5	66	(66)	-
計	4,963	8,515	59	13,537	(66)	13,471
営業費用	4,952	7,582	53	12,588	163	12,752
営業利益	11	932	5	948	(230)	718

前連結会計年度（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	道路・都市環境 関連事業	住建生活・産業 関連事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	25,773	34,730	335	60,839	-	60,839
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	157	18	175	(175)	-
計	25,773	34,888	353	61,014	(175)	60,839
営業費用	23,249	31,375	323	54,948	771	55,719
営業利益	2,523	3,512	29	6,066	(946)	5,119